Arcserve Unified Data Protection 10.x Windows Agent

RDX 利用ガイド

Rev. 1.0

改訂履歴

2025年3月 Rev1.0 リリース



Arcserve UDP Windows Agent RDX 利用ガイド

目次

1.	RDX について	2
2.	RDX カートリッジ購入のポイント	3
3.	Tanberg RDX [®] Manager のインストール	4
4.	RDX Manager による初期設定	8
5.	RDX を利用した Arcserve UDP でのバックアップ	10
5.1 5.2 5.3	Arcserve UDP Agent でのバックアップ先の指定 2 毎日カートリッジを交換する方法 3 週 1 回カートリッジを交換する方法	
6.	サンプル スクリプト	17
7.	製品情報と無償トレーニング情報	18
7.1 7.2	. 製品情報および FAQ はこちら 2 Arcserve UDP トレーニング情報	



はじめに

一般的な小規模環境における Arcserve UDP Windows Agent のバックアップ先として、NAS や外付け USB ディスク が利用されています。最近では、クラウドをバックアップ先として選択するケースもありますが、インターネット回線の スループットに起因するバックアップパフォーマンスの問題や、セキュリティ面を心配されるケースがみられます。

近年では、会社の規模を問わない様々なランサムウェア被害がみられることから、ランサムウェア対策として、高速でバックアップを取得し、且つテープメディアのようにデータをオフライン化できる RDX の運用が再注目されております。 そのようなお客様の声を踏まえ、本書では、Arcserve UDP と RDX を利用してのランサムウェア対策についてご紹介いたします。

なお、本書では Arcserve UDP Windows Agent のインストール方法等については、記載しておりません。インストール 方法や本書記載内容以外の設定について知りたい方は、<u>Arcserve カタログ センター</u>の「Arcserve UDP Windows Agent 環境構築ガイド」をご確認ください。以下、2025 年 3 月時点で最新の、Arcserve UDP 10.x の環境構築ガイドです。

・Arcserve UDP 10.x Windows Agent 環境構築ガイド https://www.arcserve.com/sites/default/files/2024-10/udp-10x-win-agent-bmr-guide.pdf

また 本書で想定しているハードウェア構成は、USB3.0 かつ RDX ドライブに 02xx 以上のファームウェアが適用されて環 境を想定しております。



Arcserve UDP Windows Agent RDX 利用ガイド

1. RDX について

RDX のメリットには、運用の容易さ、ハードウェアの信頼性の高さ、持ち運び易さ等があげられます。接続方式も USB や SATAIIIに対応しております。(※本書では、シングルドライブの USB 接続方式の RDX デバイスについて記載しています。

一方で、USB HDD をバックアップ用途として使用する方もいらっしゃいます。USB HDD は初期コストを抑えられるメリットがある反面、運搬時の取り扱いに注意が必要な製品もあります。そのため、状況に応じた適切な管理やトラブルシュ ーティングが求められることがあります。

安定したランサムウェア対策や災害対策を考慮したバックアップ運用を実現するために、RDXのメリットとデメリットについて以下をご覧ください。

	USB HDD	USB RDX
	- 大容量で安価	- 耐衝撃性が高く、災害対策としてのオフサイト保
		管にも対応
メリット		- カートリッジ交換が簡単
		- カートリッジ サイズ変更による拡張性
		- カートリッジを取り出しオフライン保管可能
	- 持ち連ひを考慮しくおらり、 衝撃に弱い	- 初期投資か局い
	製品がある	- カートリッジの管理が必要
デメリット	- 常時接続の場合マルウェア攻撃のリスク	- カートリッジの種類やサイズが限定的
	- 複数台運用時にドライブ レターを固定化	- 長期保存には、カートリッジの追加購入が必要
	できない可能性	

RDX のカートリッジには、SSD と HDD の 2 つのタイプがあり、2023 年時点ではそれぞれ 5 種類サイズが提供されているようです。

タイプ	サイズ
HDD	500GB, 1TB, 2TB, 4TB, 5TB
SSD	500GB, 1TB, 2TB, 4TB, 8TB



2. RDX カートリッジ購入のポイント

Arcserve UDP のバックアップ データ(復旧ポイント)を RDX カートリッジへ保存するに当たり、カートリッジのタイプ やサイズを決めるポイントを紹介します。

- バックアップ対象にあわせた、RDX カートリッジ サイズの選択 Arcserve UDP のバックアップ データは、複数の RDX カートリッジへ跨って(スパン)保存することはできません。 従って「1つのフル バックアップの復旧ポイント」、或いは、「フル バックアップ + (複数の)増分復旧ポイント」 が1巻に収まるサイズのカートリッジをご選択ください。 バックアップ対象データが将来的にどれぐらいになるのか想定し、余裕をもったサイズを選択されることをお薦めいた します。
- ② 複数世代数の保持を考慮した、RDX カートリッジの購入

バックアップの目的は、大きく分けて二つあります。一つは、ハードウェアの故障などの物理的な障害から復旧するため、システム全体を含む最新のバックアップを保持することです。もう一つは、ランサムウェアなどのマルウェアによるデータ破壊や消失、またはヒューマン エラー(誤操作)によるデータ消失に備え、多くの世代のバックアップを保持しておくことです。

Arcserve UDP はブロック レベル増分バックアップにより、多くの復旧ポイントを確保できます。また、各復旧ポイントからはファイル単位でのリカバリも行えます。「複数の復旧ポイントの中から目的のデータが見つからない」といった事態を防ぐためにも、週次、月次データごとに複数の RDX カートリッジを準備頂くことをお勧めします。



3. Tanberg RDX[®] Manager のインストール

バックアップ データの保護を目的として、RDX カートリッジを自動でイジェクトしてオフライン化するために、RDX Manager が必要です。RDX Manager のダウンロードは、Tanberg 社のホームページより最新のものをダウンロードして ご利用ください。

https://overlandtandberg.co.jp/downloads

(2025 年 3 月時点: 上記 URL は、Tanberg 社により変更される場合がございます。)

(1) ダウンロードした ZIP ファイルを解凍し、RDXManagerInstaller_2.0.1.54.exe よりインストールを開始します。



(2) [次へ(N)]をクリックしセットアップを開始します。

	×
RDX Managerのセットアップ	
セットアップ - RDX Manager	
RDX Manager のセットアップウィザードへようこそ。	
次へ(N) 終了	



4

(3) RDX Manager のインストール先を指定する場合は、[参照(B)] ボタンより変更することができます。ここでは、デフ ォルトのまま、[次へ(N)] をクリックします。

	×
← RDX Managerのセットアップ	
インストール先フォルダ	
RDX Manager をインストールするフォルダを指定してください。	
C:¥Program Files (x86)¥Overland-Tandberg¥RDXManager 参照(B)	
次へ(N) キャンセル	,

(4) インストール先の環境に合わせてコンポーネントを追加するか選択してください。ここでは、デフォルトのまま [次へ(N)] をクリックしています。

		×
←	RDX Managerのセットアップ	
	コンポーネントの選択	
	インストールしたいコンポーネントを選択してください。	
	RDX Manager Install RD	X Manager.
	Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) およそ 65.3	-ネントはハードディスク上に ↓ MB 必要とします。
	< >	
	デフォルト(A) すべてを選択(S) すべての選択を解除(D)	
		なへ(N) キャンセル



(5) ライセンス条項の同意が求められますので、「ライセンスに同意する」を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

>	×
← RDX Managerのセットアップ	
ライセンス条項の同意	
下記のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項に同意されない場合、インストールを継続 することはできません。	Ē
Copyright Notice Copyright ©2022 Overland-Tandberg. All rights reserved. Information in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Overland-Tandberg, or any of its subsidiaries. The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used only in accordance with the terms of the license agreement. It is against the law to copy the software on any medium. No part of this agreement may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical including photoconving and recording for any purpose without the ライセンスに同意する。 ライセンスに同意しない。 	*
次へ(N) キャンセル	

(6) ショートカットの作成先を変更できますが、デフォルトのまま [次へ(N)] をクリックします。

×
< RDX Managerのセットアップ
スタートメニューのショートカット
プログラムへのショートカットを作成したいスタートメニューを選択してください。新規作成するフォルダ名 を入力することもできます。
Overland-Tandberg
Accessibility
Accessories
Administrative Tools
Maintenance
Startup
System Tools
Windows PowerShell
次へ(N) キャンセル



(7) インストールの準備が整ったので、開始するには [インストール(I)] をクリックします。



(8) インストールが終わるとウィザードの完了画面が表示されるので、[完了(F)] をクリックし、インストールを終了しま す。

	×
RDX Managerのセットアップ	
RDX Manager のウィザードの完了	
RDX Manager のウィザードを終了するには "完了(F)"をクリックしてください。	
	完了(F)



4. RDX Manager による初期設定

Arcserve UDP Windows Agent が利用できるバックアップ先としては、Agent for Windows ユーザ ガイド に記載の通り リムーバブル ディスクへのバックアップも可能です。但し、トラブルを未然に防ぐ処置として、ドライブモードを変更しドラ イブレターを固定することを推奨します。

先ずは、RDX デバイスを接続し、初期設定を行います。

(1) スタートより、Overland-Tanberg \rightarrow RDX Manager をクリック



(2) RDX マネージャドライブリストが表示されます。その中から RDX デバイスを選択し、[RDX ドライブの管理] を クリックします。

※ この時 RDX デバイスが表示されない場合は、USB・SATA ケーブルや AC アダプターの接続等をご確認くださ

い。



(3) RDX マネージャが開き、選択したデバイスの ドライブ / カートリッジ のステータスを確認できます。

こと後、初期設定を行うので [ユーティリティ] をクリックします。

RDX7-8-99	,
25-52 暗号化 テルト ユーティリティー	
ドライノデータ	カートリッジアータ
ペンター: TANDULING	ペンター:
₩式: RDX	如 名:
シリアル番号:	シリアル番号:
ステータス: 月好	ステーラス: メディアのし
D: 村岡数: 93	D. 时间数:

※ドライブモードがリムーバブルディスクモードの場合、(4)へ進んでください。



(4) ご利用のハードウェアのファームウェアが古い可能性がある場合は、[ファームウェアの更新] を行ってください。 リムーバブルディスクモードだった場合は、ドライブモードを変更します。



(5) 次に RDX に割り当てるドライブレターとドライブレターの固定化を行います。



これらの設定を行うことで、サーバの再起動時による RDX の誤認識を防ぐことを期待できます。

注意!!

Windows Server 2025 (Bult 26100) 環境において、RDX Manager で固定ディスクモードに設定しているにも かかわらず、OS 再起動時やカートリッジ挿入時にドライブレターが変わってしまう問題が発生しています。本事 象について、現時点ではメーカーの Web サイトに公開されている回避策しか対処の方法がありません。詳細につ いては、以下の公式ドキュメントをご確認ください。

https://drive.google.com/file/d/1bUIF5wwq8kqAmr-hsjrdCgNv7ij55Q1y/view?usp=sharing



5. RDX を利用した Arcserve UDP でのバックアップ

Arcserve UDP Windows Agent で一次バックアップ先を RDX にした際に有用な、RDX Cleaner / RDX Force Cleaner ユーティリティを提供しています。

これらのユーティリティは、"C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥RDXCleanerTools" フォルダにございます。

RDX Cleaner

RDX カートリッジのコンテンツをクリアする前にフルバックアップが存在しないことを確認します。 この確認プロセスでは、実行時点からみて直近で実行され完了した、フル バックアップのセッション番号を確認しま す。最新のフル バックアップ セッション番号が RDX カートリッジに存在しない場合、RDXCleaner.exe は RDX カ ートリッジ内のバックアップ データを削除します。 ※ 本ツールを使用することでカートリッジのフォーマット作業が不要になります。

RDX Force Cleaner

RDX カートリッジのコンテンツを無条件(確認動作は行われません)でクリーン アップを行います。

- ※ これらのユーティリティは、一次バックアップ先が RDX ドライブの時利用できます。
- ※ これらのユーティリティを使用せず、カートリッジ内にフル バックアップ データが存在する場合、入れ替え後の初回のバックアップは、検証バックアップとなります。

この章では RDX Cleaner を利用した 2 つの方法について紹介いたします。

それぞれの方法で必要となるカートリッジ数、RPA, バックアップ時間について以下に纏めました。

	必要カートリッジの本数(平 日 2 週間分保存を想定)	データの鮮度(RPA : Recovery Point Actual)	バックアップ時間
月曜日~金曜日 毎日カートリッジ交換	△ 10 本	○1日前	△ 長い(毎日フルバックアップ)
週 1 回カートリッジ交換	○ 2本	△ 1 週間前	 ○ 短い (カートリッジ交換日以外 は増分)



5.1 Arcserve UDP Agent でのバックアップ先の指定

RDX ドライブ(Z:)の接続と設定が完了したら、Arcserve UDP Windows Agent 上でバックアップ先の設定を行います。

バックアップ設定 > 保護設定 > バックアップ先の参照から Z:を指定しています。

Point !

Arcserve UDP では設定を保存する際、指定したバックアップ先で自動的にホスト名のフォルダを作成し、そのフォ ルダ内へバックアップデータを格納します。

and the second s			
▶ バックアップ設定	促進設定		
	ProstXAL		
100 スクシュール	▼バックアップ先		
◎ 」20.18	ファイルのバックアップ先を選択し	してください。	
💦 ファイル コピー設定			
	Z:¥Host Name¥		→参照
📋 デスティネーション			
🛞 スケジュール	バックアップ先が変更されたので	、次のバックアップの種類を選択してください	/).
▶ ファイル アーカイブ設定	◉ フル バックアップ	○ 増分バックア	/ップ
			^음 / \ ㅣ ᅪᇊᇑᆎᆂᄵᆂᄨᄀᅎᆿ
、参考までに、ヘ	アメタル 復旧夫打中に ド	のスカートリッシェの復旧が	イノトが認識された様子で
arcserve	RARE METAL RECOVERY		
	JANE METAE NEUVENT		
хажалы (винс)			
変のポイントを決定します	Q11-Q11-957-92(第巻 マジンの利用出され) #	LAND - State of the set	
やインには、すべてのパックアップ活動でかったい。 後表示されます。マシンタクいりすると、下部や	8979 SCC	47 L 32	
はる検知時代へが表示されます。 読行する(1) CALSS # #1 - スイダメイン	0. W	2019	4(4)- 851
urretante de concern Sensitivitario da concerna	esta.	05.	Wadows Server 2015 X54
があっていたい。これにいる「おからい」のでもなっていた。	សម សម		
(チル・アイスクな物料素をは酸化料剤にした後、し)クするとマシン リストを開始することができます。	1921 #11 16	DNA 977:072	
〔参照]を996りする2、リモート共有フォルジョル 5 ストラからパックアップ(あみ マシンな)追加するこ	た() (たらで)	9-2:	えっトワック パロックル・パス
-			
ト共有フォルジを参照できない場合、NIOドライ トールダれていないが、P フドレスが開建ってい	4797 639		
があります。 お英な場合には、以下を支付でき かゆかます。 しき イリタロード りっそう ほっち	1.8 m		
2002 CONTRACT - N 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -			
	細葉 増金したマシンに以下の進用がイントが別。	出きれました。祖田ボイン小をすう運営した後、破行して(ださい)	
<u>ういうすると、</u> ネットワーク登家ユーティルティを			
<mark>*シルウオ<i>は</i>と、</mark> さらトワーク開始ユーティルティ的 	B- 🐼 2028/08/04	AR 25-92.	~
<u>けいりすると、</u> さらトワーク開始ユーテルティタ	H 2021/03/04	AR 25-92:	Î
<u>たいわすか。</u> さんワーク開始ユーティンティを 1	B 2021/03/04	AR ステータス: - - プックアップの健康: - 市内パックアング	
1 <u>1998日本は、</u> ストワーク設定ユーティンティを	B 2021/03/04 S 100501 S 100501 S 100501	AR ステータス: - - パックアップの建築: - 本会がらうつ <i>う</i> パックアップ来 (現在 のシステム	^ አውና ተለ ሠአ
1 <u>9965年46、</u> さめトワーク開始ユーティンディを 1	B 2021/03/04 2021/03/04 204501 204501	AR ステータス: 	л .05#ШХ
<u>たいわすると、</u> さらトワーク設定ユーティンディを	E 2022 AG8 AG4	AR ステータス: - - - パックアップの課題: - 市会パックアング - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919 - 1999-1919	л . <i>Ф5#Ш</i> 2
1 <u>10007132、</u> 36トワーク登出ユーティンディを 1 ト ワーク アダブタ甘輸出されませんでした	E 2022 AG8 AG4	<i>AR ステータス</i> . - - - パックアップの 建築 : - 市らパックアップ - 1990-アップル (現在のシステム - 1990-アップル) - 1990-アップル(現在 - 1990-アップル) - 1903	л . 675 М. Ш.Х.
* <u>*2005すると、</u> さらトワーク設定ユーティンディを * *ワーク アダブタ目標出されませんでした	대 2025 AG8 AG4	<i>AR ステータス</i> . - - - パックアップの 建築: - 市内パックアップ - ドックアップター (現在のタンステム - ドックアップの) - ドックアップタールを取っ. - 1008 - バックアップタールを取っ. ム (語	
* <u>*2005すると、</u> さらトワーク設定ユーティンティを * *ワーク アダプタは特定されませんでした	Image: Second state Image:	<i>AR ステータス</i> : - - - - - - - - - - - - -	へ 2から検出 注
<u>ウルウオム、</u> Pebワーク設定コーティンティを ウルウオム、 Pebワーク設定コーティンティを	Image: Second state Image:	AR ステータス: 	へ シのら検出 <i>使用サイズ・注意サイズ・色文な優かサイズ)</i> artoo (Martoo NEL) MED) NEL (Martoo NEL) NEL (Martoo NEL)
<u>ういうすると、</u> さらトワーク設定ユーティンティを ・ワーク アダプタな輸出されませんでした	Image: Second	<i>AR ステータス</i> : - - - - - - - - - -	へ 5のら検辺 2015日 NET KED NET 1155 (NET KED NET) 1155 (NET KED NET) 1155 (NET KED NET) 1155 (NET KED NET KED

バックアップ取得時の OS 上では Z ドライブとして認識していますが、ベアメタル復旧(BMR) 実行時は、異なるド ライブで認識されることが殆どです。



なお、共有フォルダからのリカバリと違い、ネットワーク設定も不要で、復旧用メディアが自動的に復旧ポイントを 認識してくれるので、簡単に目的の復旧ポイントが見つかります。

5.2 毎日カートリッジを交換する方法

以下の方法は、月曜日から金曜日まで毎日 RDX カートリッジを交換し、フル バックアップ データをオフライン化し て保存することで、ランサムウェアを含めたマルウェアの脅威から、バックアップを守ります。 但し、カートリッジ数が少ないと潜伏型のマルウェアや、時間の経過してしまった論理障害に対応できない場合があ るので、カートリッジの本数を増やし多くの世代数を残すことが、様々な脅威や障害に備えるために重要です。

ここでの設定例は、月曜日~金曜日のバックアップジョブ実行前に、RDX Force Cleaner でデータの削除を行い、 バックアップ完了後 RDX カートリッジを自動で取り出す方法について紹介しています。 運用上の注意点として、自動でイジェクトされた RDX カートリッジの交換を忘れずに行うことです。

バックアップ設定

スケジュール :

デフォルトの日次増分バックアップから、土日のスケジュールを除外し、1週間で平日分の5つのフルバックアップ 復旧ポイントを作成します。

 「ックアップ設定 保護設定 スケジュール 	④ 追加 ▼ 削除								
◎ 拡張 【 バックアップ実行前/後の設定	 ダイ説明 プ 	B	月	火	水	木	金	±	時刻
▲ 📷 ファイル コピー設定 🚵 ソース 💼 デスティネーション	 日次増分バックアップ 一 △ 通知 		•	•	•	•	•		22:00
 	 手動(アドホック)バックアッ: 定はまだ適用されます。 	プについては、カ	スタム	(手動バ	ックア	ッ プ:	スケジ	ュール	用に設定された保存設
 査 デスティネーション ③ スケジュール ▲ 製 復日ポイントのコピー 	スケジュールされたバックアップの 開始時刻	2025/01/01		1 m 1 ::::	0	• :	00	Ŧ	
 □ コピー設定 ▲ ● 環境設定 ▲ ● 一四 	復旧ポイントの保存	1			毎日				
 ■ 電子メール アラート ■ 更新 					毎週				
▲ 図 設定のエクスポート/インポート 図 エクスポート		1			毎月	/、/手	≣h		
	カタログ	リスクラム・チョッ							
		 日次バックアップ 週次バックアップ 月次バックアップ カスタム/手動バックアップ 							

※ 後述する [バックアップ実行前/後の設定] で、バックアップジョブ開始前に RDX Force Cleaner により、



その都度データの削除を行うため、カートリッジへ保存する毎日の復旧ポイントとカスタム/手動の復旧ポイント 数を「1」としています。

なお、検索リストアを頻繁に行う場合は、必要に応じてバックアップ時にカタログを作成してください。

Point !

この例では、土日はバックアップを行わないので「土曜日」と「日曜日」のチェックを外します。RDX Force Cleaner によりデータが削除されていれば、増分バックアップがフル バックアップに自動的に切り替わります。その ため、[バックアップの種類] は「増分」のままで問題ありません。

	バックアップ スケジュールの編集									
	每日									
anne – anne –	バックアップの種類	増分	~							
	開始時刻	22:00	8							
 <u>日次増分バックアップ</u> 		 □ 日曜日 ☑ 水曜日 □ 土曜日 	☑ 月曜日 ☑ 木曜日	☑ 火曜日 ☑ 金曜日						
	保持するバックアップ数	1								
				_						
	ヘルプ		保得	キャンセル						



バックアップ実行前/後の設定:

"C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data protection¥Engine¥BIN¥RDXCleanerTools"フォルダにある **RDXForceCleanX64.exe** を利用し、カートリッジ内の復旧ポイントをバックアップ実行前に削除します。 "C:¥RDX_Script"フォルダに配置した <u>RDX_Eject.bat</u>を利用してバックアップ取得後の RDX カートリッジを自動イ ジェクトします。

▲ 長 バックアップ設定 ▲ 保護設定	バックアップ実行前/後の設定							
🛞 スケジュール	アクション							
🚳 拡張	コマンドは、バックアップ前および(または)バックアップ後に実行できます。							
📉 バックアップ実行前/後の設定								
🔺 🌇 ファイル コピー設定	ユーザ名 administrator							
品ソース	パスワード							
デスティネーション								
③ スケジュール	✓ バックアップ開始前にコマンドを実行							
▲ 🛂 ファイル アーカイフ設定	C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\RDXCleanerTools							
■ アスティホーション ■ フケジュール	図 終了コード 0							
◎ ハノンユール ▲ 第 復旧ポイントのコピー	 ジョブを続行 							
▲ 桑 環境設定								
	□ スナップショット取得後にコマンドを実行							
🔤 電子メール アラート								
🔁 更新								
⊿ 👳 設定のエクスポート/インポート	□□ ハックアッフ元」使にコマンドを実行							
🗹 エクスポート	C:\RDX_Script\RDX_Eject.bat							
12 インポート	□ ミュブが生敗した場合でもつフンドを実行							
	設定の保存 キャンセル ヘルプ							

※ RDX カートリッジをコマンドでイジェクトするには、事前に RDX Manager のインストールが必要です。

5.3 週1回カートリッジを交換する方法

ここで紹介する方法は、フル1つ+増分バックアップ4つからなる、平日分5つの復旧ポイントを1巻のRDXカートリッジへ保存する方法です。この方法によりカートリッジ本数を節約できます。5.2の方法同様にバックアップデータをサイバー攻撃から守る方法として、カートリッジがオンライン状態の時間を短くするため、バックアップ完了後RDXカートリッジをイジェクトしています。

運用上の注意点として、次のバックアップを開始される前に RDX カートリッジをデバイスに挿入しないとバックアップが失敗します。





バックアップ設定

スケジュール:

デフォルトの日次増分バックアップから、土日のスケジュールを除外し、1週間で1つのフルバックアップの復旧ポイントと平日分の4つの増分復旧ポイントを作成します。

設定											
🔺 Ы バックアップ設定											
📋 保護設定		- 318A									
🚳 スケジュール	U	川「」									
◎ 拡張	v 91	説明		B	月	火	水	木	金	±	時刻
ヾ バックアップ実行前/後の設定	ー ブ										
4 📉 ファイル コピー設定		日次増分バックアップ			~	~	~	~	×.		22:00
品 ソース											
デスティネーション	─ △ 通知										
1000 スケジュール		(マドホック) パックマッ	ポー・ハンフィー	+ + 7		手動パ		·	7.4-20-		田に設定された思方設
▲ 📷 ファイル アーガイン設定	+ 手動	(アドバック)ハックアッ. まだ適用されます。			(9 D)	于到八	9999	977	<0 2-	1-10	用に良足 C1 いこ体ける
mm シーへ 「「デフティネーション」											
■ フスティホーション ■ スケジュール	スケジュー	・ルされたバックアップの	2025/01/	01		يتعتر	0		00	_	
▲ № 復旧ポイントのコピー	開始時刻		2023/01/	01			•	* ·	00	*	
▲ コピー設定		1									
▲ 🖉 環境設定	復旧/111 ノ	1200体1子	5				毎日				
						_					
🔤 電子メール アラート							毎週				
🔁 更新											
⊿ 🔯 設定のエクスポート/インポート							毎月				
🖆 エクスポート							+ 7 6				
🗾 インポート			1				<u>л</u> , х у	14/+1	50		
	+			<i>de</i>					م ال م	++	
	ハタロク リトの実行使にノアイル システム カタロクを生成 (検察速度向上のため):										
				ックアッ	ע ע 						
			回週次パッ	ックアッ	ע ע 						
				」/手動/	バック	アッフ	/				



バックアップ実行前/後の設定:

バックアップ実行前に"C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data protection¥Engine¥BIN¥RDXCleanerTools"フ ォルダにある **RDXCleanerX64.exe** を実行します。これにより、カートリッジ内に最新のフル バックアップ復旧 ポイントが無ければ RDX 内の復旧ポイントを全て削除します。翌日以降は、最新のフル バックアップの復旧ポイン トから連続した増分復旧ポイントを作成します。

"C:¥RDX_Script"フォルダに配置した <u>RDX_Eject.bat</u>を利用してバックアップ取得後の RDX カートリッジを自動イ ジェクトします。

設定		
 ▲ 「バックアップ設定 ● 保護設定 	バックアップ前および (または) バックアップ後に実行できます。 ユーザ名 administrator パスワード (スワード) パックアップ間始前にコマンドを実行 CiProgram FilesiArcservelUnified Data Protection\Engine\BIN\RDXCleanerTools 修了コード 0 ※ ショブを掠行 ③ コージを支持 「オップショット取得後にコマンドを実行 「パックアップ充了後にコマンドを実行 「RDX_Script\RDX_Eject.baf ③ ヨゴが失敗した場合でもコマンドを実行	
	設定の保存 キャンセル ヘルプ	f

Point !

毎日イジェクトされるカートリッジをバックアップ開始前に挿入するのが運用上難しい場合、バックアップ完了後に 実行するコマンドとして DOW_RDX_Eject.bat を設定することで、指定曜日のみ自動イジェクトを実行させること ができます。



6. サンプル スクリプト

RDX の運用に役立つサンプル スクリプトを掲載します。

スクリプトの動作については、Arcserve テクニカル サポートの対象外となりますので、くれぐれも動作確認等は自己責 任でお願い致します。

RDX_Eject.bat

@echo.off

set CMD_PATH="C:\Program Files (x86)\Overland-Tandberg\RDXManager\Manager\RdxCmdLine.exe" %CMD_PATH% -e <Drive Letter>

解説:

バックアップ ジョブ実行後スクリプトへ定義することで、RDX カートリッジを自動 Eject させます

```
RDX Manager インストール先に合わせて、変数: CMD_PATH へ RdxCmdLine.exe パスと、RDX のドライブレ
```

ターにあわせて<Drive Letter>を定義してください

• DOW_RDX_Eject.bat

@echo off
setlocal enabledelayedexpansion
set TARGET_DAY=0
set CMD_PATH="C:\Program Files (x86)\Overland-Tandberg\RDXManager\Manager\RdxCmdLine.exe"
for /f "tokens=2 delims==" %%a in ('wmic path win32_localtime get dayofweek /format:list') do set
CURRENT_DAY=%%a
if !CURRENT_DAY!==%TARGET_DAY% (%CMD_PATH% -e <Drive Letter>)
endlocal
exit

解說:

バックアップ ジョブ実行後スクリプトへ定義することで、TARGET_DAY に指定した曜日(0=日曜日, 1=月曜日, ..., 6=土曜日)に RDX カートリッジを自動 Eject させます。ご利用状況に合わせて、TARGET_DAY, CMD_PATH, <Drive Letter> を定義してください。

※ このバックアップが動作するタイミングが何曜日となるか、確認した上で曜日パラメータを設定してくだ さい。

例:金曜日のバックアップが曜日を跨いで土曜日に終了している場合、設定する曜日パラメータは

「6(土曜日)」になります。



7. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認し てください。

7.1 製品情報および FAQ はこちら

・Arcserve シリーズ ポータルサイト

https://www.arcserve.com/jp/

Arcserve UDP 10.x 動作要件:
 https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-10-X-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

 Arcserve UDP Unified Data Protection 10.x 注意/制限事項: https://support.arcserve.com/s/article/2024110101?language=ja

・Arcserve UDP Agent for Windows ユーザ ガイド https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/UDPWUG/default.htm#Agent_for_Windows_User_Guide/tit le_page_udp_agent_w.htm

・Arcserve UDP 10.x - よくある質問と回答: https://www.arcserve.com/sites/default/files/2024-10/udp-10x-faq.pdf

7.2 Arcserve UDP トレーニング情報

無償ハンズオントレーニング(リアル / オンライン) 半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを実施しています。どなた様でも ご参加いただけますので、この機会にご活用ください。 https://www.arcserve.com/jp/seminars

